

**製品名: NeuroD1 (11M3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe14605**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50,IF-P 1:200-1:1000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NEUROD1
別名	BETA2; BHF1; bHLHa3; MODY6; NDF1; NEUROD; NeuroD1; Neurogenic;
遺伝子 ID	4760.0
SwissProt ID	Q13562
免疫原	ヒト NeuroD1 の組み換えタンパク質

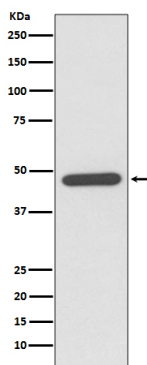
**背景**

小脳皮質における樹状突起の形態形成と維持に必要な分化因子。転写活性化因子。インスリン遺伝子 E ボックスに結合します。転写活性化因子として作用し、E ボックスを含むプロモーターコンセンサスコア配列 5'-CANNTG-3'に結合して転写活性化を媒介します。p300/CBP 転写コアクチベーター複合体と会合して、セクレチン遺伝子およびサイクリン依存性キナーゼ阻害剤 CDKN1A をコードする遺伝子の転写を刺激します。初期の網膜神経節細胞、内耳感覚ニューロン、小脳または海馬の歯状回細胞層を形成する顆粒細胞、膵臓の内分泌島細胞、小腸の腸内分泌細胞の形成を促進するものなど、いくつかの細胞分化経路の調節に寄与します。PAX6 または SIX3 と共に、アマクリン細胞の運命決定の制御に必要である。また、小脳皮質における樹状突起の形態形成と維持にも必要である。神経発生の主要な転写調節因子をコードする遺伝子において、クロマチンとエンハンサー制御因子との関連が認められる（類似性に基づく）。

## 研究分野

-

## 画像データ



Y79 細胞溶解物における NeuroD1 発現のウェスタン ブロット解析。